



金井中だより



〒952-1208 新潟県佐渡市金井新保乙40番地 TEL 0259-63-4107
E-mail kanai-js@sado.ed.jp http://kanai-js.sado.ed.jp/

1 学期終業式 校長講話

“今日より明日”のInnovation ～多様性～

校長 雑賀 裕

73日間の1学期を、皆さんの努力と協力により予定通り終えることができます。今ほど代表生徒の立派な発表がありましたが、全校生徒一人ひとりの心に73日分の成長の軌跡（足あと）が刻まれていることと思います。

明日から8月27日まで、待ちに待った夏休みです。皆さんはどのような夏休みにしようと考えていますか？いつもよりも、少しゆっくりとした時間をもてると思います。是非、夏休みだからこそ出来る取組を考え挑戦してみてください。

話は変わりますが、皆さんは『多様性』という言葉聞いたことはありますか？ウィキペディアによると、「ある集団の中に異なる特徴・特性を持つ人がともに存在する」と紹介されていました。未来へのINNOVATIONとして、少し考えてみましょう。

私自身は、4年前に行われたラグビーワールドカップが『多様性』を考える大きなきっかけとなりました。

皆さんはラグビー日本代表のメンバーを知っていますか？他の種目と決定的に違う特徴があります。それは、多くの外国人選手が日本代表のメンバーとなり、互いに尊重し合い「ONE TEAM」として闘っているところです。生まれた国や身体の特徴などを超え、信頼関係のもとに結集した、日本を愛する集団だということです。私は、ラグビーは詳しくはありませんが、彼らのことが大好きになりました。

もう一つ紹介します。『LGBT理解増進法』です。日本でも、性差別等による被害者を守る法律が6月16日に成立しました。日本が参加している「G7」をはじめとする世界30カ国以上が既に法整備されていると聞きますから、日本としては、これから世界に学ばなければならない分野です。

金井中学校でも制服などの検討を始めました。男子用・女子用という概念を廃し、個人が指定された制服タイプの中から組み合わせを選択できるようにしていきます。正式に決定するまでもうしばらく待っててください。「悪ふざけ」や「目立ちたい」などのために利用するルールではないことを、生徒一人ひとりがしっかりと自覚し、『多様性』の心を成熟させていってください。

以上でまとめとしますが、最初に話をした「夏休みだからこそ出来る取組」を考える視点として『多様性について考える』ことを加えてくれたら嬉しいです。2学期の始業式で成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。では、よい夏休みにしてください。

生徒会スローガン披露

6日（木）の全校朝会で、生徒会本部から今年度の生徒会スローガンについての説明がありました。『雲外創天』には、「どんな試練があっても、努力すれば乗り越えられる。全校生徒で力を合わせて素晴らしい金井中学校を創っていこう」という意味が込められているそうです。体育館ステージに掲げられたスローガンは、美術部の生徒たちが制作しました。



このスローガンのもと、K中生が様々な活動に一生懸命取り組む姿をご期待ください。

体育祭結団式

体育祭スローガン「必死に駆けてこそ、その体育祭は光を放つ」

先月27日に行われた体育祭チーム決定式を受けて、10日（月）に体育祭結団式を行いました。

まず体育祭実行委員長の北川陽翔さんから、体育祭スローガンの発表がありました。織田信長の『必死に生きてこそ、その生涯は光を放つ』という言葉



を参考に作成し、「全校生徒が必死になって応援や競技、練習に取り組んでこそ、体育祭は成功し、光り輝く素晴らしいものになる」という意味が込められているそうです。北川さんは、「スローガンを達成できるよう今日から全校で協力して取り組んでいこう」と呼びかけました。

続いて、青軍、赤軍に分かれて団長や副団長、幹部、パネル長などの紹介、軍のテーマ、



掛け声の発表がありました。そして、初めての声出しとエール交換を行いました。両軍の大きな声が体育館中に響いて大いに盛り上がり、体育祭に向けて全校の志気が高まりました。

令和5年度 体育祭 組織図

体育祭実行委員長	北川 陽翔	副実行委員長	由井 杏南
競技担当	中山雅久 本間広夢	式典担当	筒井結香 若林佐妃
応援担当	平田隼龍 山城太一	パネル担当	児玉結彩 梶井ひより
	青 軍		赤 軍
学 級	3 A・2 B・1 A		3 B・2 A・1 B
応援団長	濱口 凌佑		山城 太一
副団長	北川 陽翔		土屋康史朗
パネル長	羽生 咲		除 羚生
副パネル長	石井 心夏		ヴァンスレイ・ピン

「被爆ピアノ」を通して平和について考える

18日(火)に、「旅するピカドン・ピアノコンサート」が開催されました。これは、ピアノ調律師である矢川光則さんが、78年前に広島に原子爆弾が投下されたときに奇跡的に残った実物のピアノを紹介しながら、全国で戦争の愚かさや平和の尊さを伝えるために活動しているものです。今回佐渡に来島されるということで、金井中にもご自分の4トントラックにピアノを乗せて来ていただきました。



コンサートに先立って、千羽鶴の献納やDVD「ピカドン・ピアノって何？」の鑑賞、矢川様の講話がありました。そして、いよいよコンサートに移りました。希望した5組の生徒及び当校音楽教師の高野先生がピカドン・ピアノを演奏しました。ピアノの経験年数は異なっても、それぞれが気持ちのこもった演奏をしてくれました。また、吹奏楽部との合奏による「ふるさと」の演奏、そして、音楽の時間に学級ごとに練習してきた「翼をください」の全校合唱も行いました。プロによる演奏はありませんでしたが、楽しく感動的な素晴らしいピアノコンサートとなりました。

生徒たちは、被爆ピアノを実際に触ったりその音色を聴いたりすることで、原爆や戦争の恐ろしさ、そして平和の尊さについて改めて考えることができたようです。



大切なお金と上手に付き合おう

19日(水)、PTA育成部主催の事業として、お金と情報のモラルに関する講演会を実施しました。今年度は、新潟県労働金庫の齋藤雄治様よりご講演いただき、お金と情報ツールの適切な使用について学習しました。

まず、齋藤様がクイズを交えながら、お金の3つの役割(尺度・交換・保存)や4つの機能(稼ぐ・使う・貯める・増やす)について説明し、生徒はお金の価値やお金の大切さを学びました。また、中学生によくあるお金のトラブル事例の紹介(友人のライブチケット代を立て替えたが返してもらえない、ネットゲームの課金でキャリア決済を選択し多額の支払いが生じた、など)があり、生徒はそれらの対処法を話し合いました。そして、お金のことで困ったらすぐに大人に相談することが大切であるとアドバイスをもらいました。



当日、「マネートラブルにかつ」のリーフレットを生徒に配付しましたのでご一読いただき、ご家庭でもお金やインターネットに関する注意点について話題にしていただけるとありがたいです。

講演会の準備・運営を行っていただいたPTA育成部の皆様、参加して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。

~~~~~ 生徒の活躍の記録 ~~~~~

○新潟県中学校総合体育大会(7/15-16)

- ・陸上競技(長岡市営陸上競技場)

共通男子走幅跳 第2位 6m47 3年:山本春琉 ※北信越大会出場権は獲得済み

- ・バドミントン(阿賀野市ささかみ体育館)

男子団体 第3位 佐渡オールアタック 2年:菊田倅士朗 ※北信越大会出場決定

男子個人ダブルス 第2位 菊田倅士朗(佐渡オールアタック) ※北信越大会出場決定

- ・バレーボール(柏崎市総合体育館)

男子 第3位 SADO Redseabreams (3年:榎烈華、須田匠、高橋翔太、本間広夢、1年:菊地隼瑠、雑賀結也)

○下越地区吹奏楽コンクール(7/15 新潟テルサ)

中学生Bの部I 銅賞 金井中学校吹奏楽部

○佐渡市総合スポーツ大会ソフトテニス大会(7/9 佐渡スポーツハウス)

中学1年生男子の部 第2位 齋藤莉玖・梅川燈春ペア

中学1年生女子の部 第3位 金子あかり・金子ひかりペア